(資料2)

透析診療施設へのアンケート調査

透析情報標準規格は、透析診療施設において電子的に出力することを想定しているが、透析診療施設における透析部門システム、電子カルテ等の導入状況は不明である。そこで、透析診療施設を対象としてアンケート調査を実施した。以下に調査の実施概要を示す。

対　象：日本透析医学会会員、日本透析医会会員
　　重複を除いて送付先は 4,324 件
期　間：2022 年 11 月末から 2023 年 1 月 12 日
回答方法：Google フォームまたは FAX
回答率：回答数 1,744 件、回答率 40.3%

以下に令和 4 年度総括報告書より主な結果を抜粋して示す。以下においては電子カルテシステムを、電子カルテと省略する場合がある。また、図表番号は令和 4 年度総括報告書における図表番号である。

（1）回答施設の種別

回答施設は病院 51%、無床診療所 40%、有床診療所 10%であった(表２、図２)。

表２　回答施設の種別

	度数	パーセント
病院	878	50.5
無床診療所	690	39.7
有床診療所	169	9.7
合計	1737	100.0

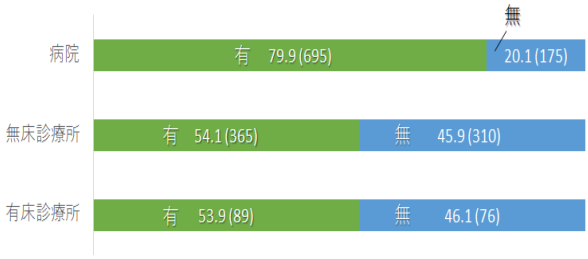

図２　回答施設の種別

（2）電子カルテシステムの導入状況

施設の種類別では病院の導入率が 80%、診療所は無床診療所、有床診療所ともに 54%である (表３、図３) 。

表３　施設種別・電子カルテシステムの導入状況

	有	無	合計
病院	79.9(695)	20.1(175)	100.0 (870)
無床診療所	54.1(365)	45.9(310)	100.0 (675)
有床診療所	53.9(89)	46.1(76)	100.0 (165)
	67.2(1149)	**32.8(561)**	**100.0 (1710)**

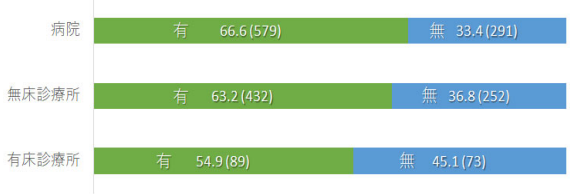

図３　施設種別電子カルテシステムの導入状況

図４は病院における病床規模別の電子カルテ導入率を示す。病床規模が小さいほど導入率が低い傾向がみられる。

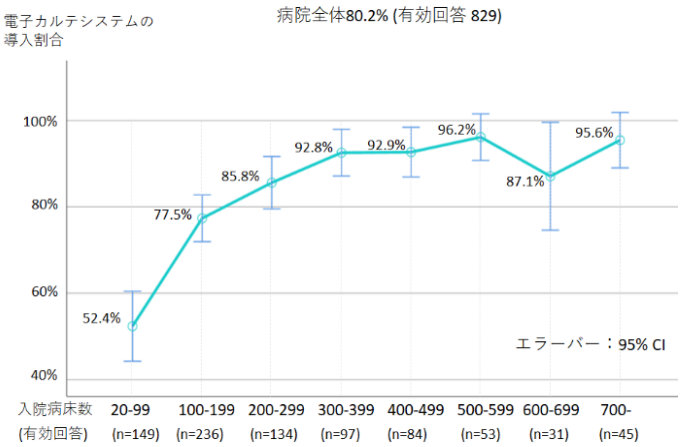

図４　病院における病床規模別電子カルテ導入状況

透析ベッド数の規模別にみた電子カルテ導入率を、図５は病院、図６は診療所(無床診療所、有床診療所)について示す。病院全体では 80%、診療所全体では 54%であり、病院の場合、透析ベッド数規模別の導入率の差異は、病床規模別と比べると大きくはない。

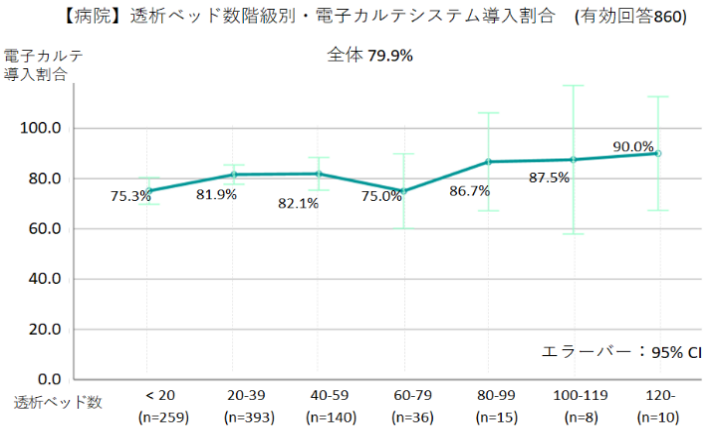

図５　病院の透析規模別電子カルテの導入状況

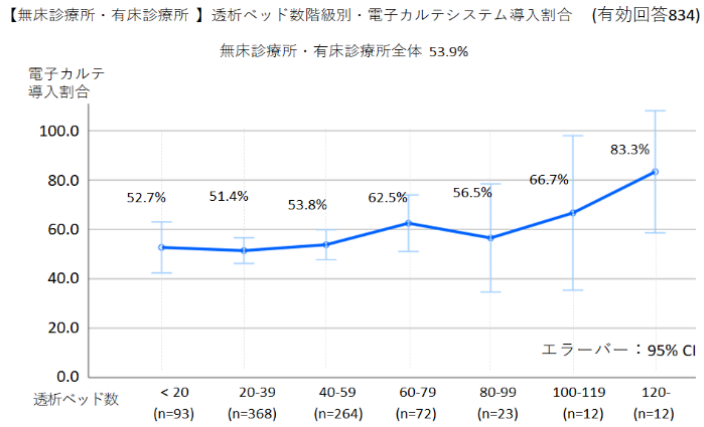

図６　診療所の透ベッド規模別電子カルテの導入状況

（３）透析部門システムの導入状況

施設の種類別の透析部門システムの導入割合を表４、図７に示す。透析部門システムの導入割合は、病院で 67%、無床診療所では 63%、有床診療所では 55%であった。

表４　施設種別・透析部門システムの導入状況

	有	無	合計
病院	66.6(579)	33.4 (291)	100.0 (870)
無床診療所	63.2(432)	36.8 (252)	100.0 (684)
有床診療所	54.9 (89)	45.1 (73)	100.0 (162)
	64.1 (1100)	**35.9 (616)**	**100.0 (1716)**

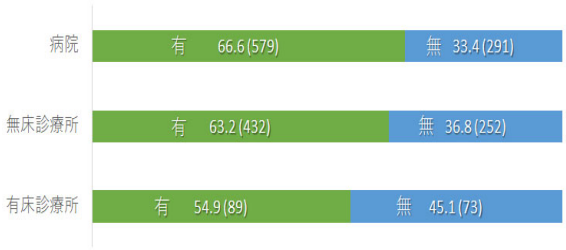

図７　施設種別・透析部門システムの導入状況

図８は、病院における透析部門システムの導入状況を病床規模別に示したものである。病床規模別にみた場合、電子カルテの導入割合に比べて透析部門システムの導入割合の差は大きくはない。

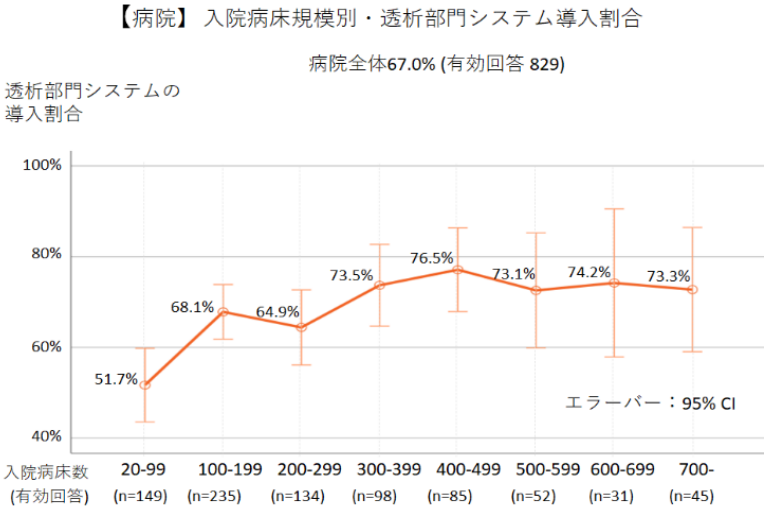

図８　病院の病床規模別・透析部門システム導入割合

（４）透析部門システムと電子カルテシステムの導入の有無

表５に、病院・診療所全体における「透析部門システム導入の有無」と「電子カルテ導入の有無」を、クロス集計表で表す。電子カルテ、透析部門システムのどちらも導入している施設の割合は 50%、どちらのシステムも導入していない施設の割合は 19%である。図９に病院、無床診療所、有床診療所、それぞれについて「透析部門システム導入の有無」と「電子カルテ導入の有無」の回答の分布を示す。施設の種別では、いずれのシステムも導入無しの割合は、病院では 13%、有床診療所では 30%であった。

表５　透析部門システムと電子カルテシステムの導入の有無のクロス集計表

【全体】透析部門システム導入の有無と電子カルテシステム導入の有無
(有効回答1,701)

電子カルテ
導入割合

透析部門システム導入 ＼ 電子カルテシステム導入	有	無	合計
有	50.2(854)	14.1(239)	64.3(1093)
無	16.9(288)	18.8(320)	35.7(608)
合計	**67.1**(1142)	**32.9(559)**	**100.0(1701)**

は総件数に対する割合

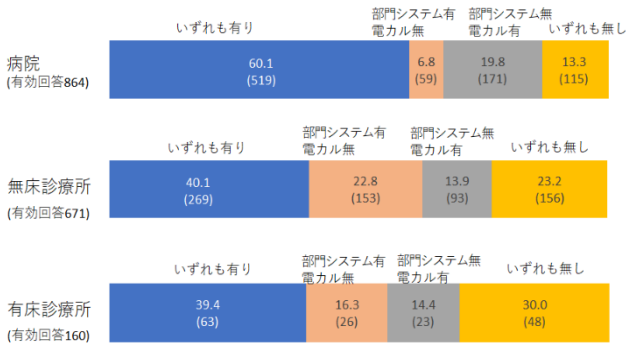

図９　施設の種類別、電子カルテ・部門システムの導入の有無の分布

（５）システム間の連携

透析情報に係るシステム間連携について病院、診療所あわせた回答を図１０、図１１に示す。「レセプトコンピュータシステム」と「透析部門システム」のいずれも導入が有る場合に、両システムで連携があるとした回答は 66%であった(図１０)。「透析部門システム」と「電子カルテシステム」の導入が有る場合に、両システムで連携があるとする回答は 84%となった(図１１)。

レセコンと透析部門システムの連携の有無
(有効回答 941)

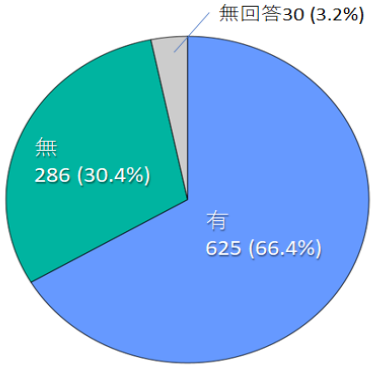

図１０　「レセコン導入有」かつ「部門システム導入有」の場合に両システムの連携の有無

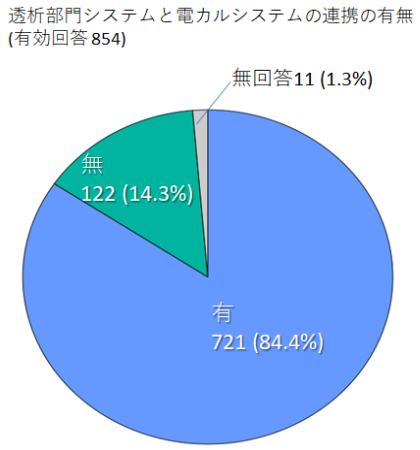

図１１　「電子カルテ導入有」かつ「部門システム導入有」の場合に両システムの連携の有無

（６）透析装置の状況

導入している透析装置のメーカについて、回答を病院・診療所をあわせて図１２に示す。図１２には、他のメーカ装置も導入している場合は、そのメーカについての結果も示す。

１つ目のメーカの有効回答数は 1,740 件、２つ目のメーカの有効回答数は 345 件であった

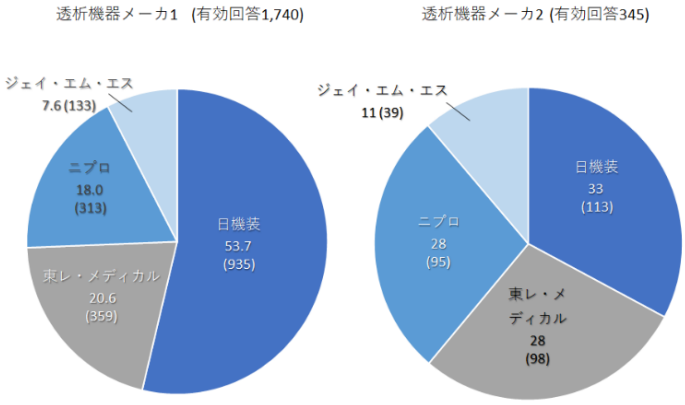

図１２　導入している透析装置のメーカ

（７）複数メーカの透析装置導入と透析部門システムの関係

さらに、導入している透析メーカの数と、透析部門システムの導入状況の関係について確認した。図１３は１つのメーカのみ回答があった施設における透析部門システムの導入割合を、透析メーカ別に示したものである。図１４は、２つ目のメーカを回答した施設（3つ目以上を回答している場合も含む）における透析部門システムの導入状況を、透析装置メーカ別に示したものである。

1メーカ のみの施設
(透析装置2の記載無しの施設)

メーカ	施設数	部門システム導入割合
日機装	760	67.1%
東レ・メディカル	284	69.7%
ニプロ	230	60.4%
ジェイ・エム・エス	102	68.6%
合計	1376	66.6%

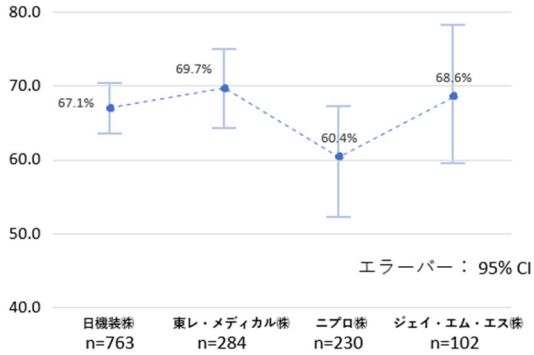

図１３　１メーカのみの場合の透析メーカ別、透析部門システムの導入割合

2メーカ以上の施設
(透析装置2に記載有りの施設)

メーカ	施設数	部門システム導入割合
日機装	112	51.8%
東レ・メディカル	97	51.6%
ニプロ	95	53.7%
ジェイ・エム・エス	38	68.4%
合計	342	54.1%

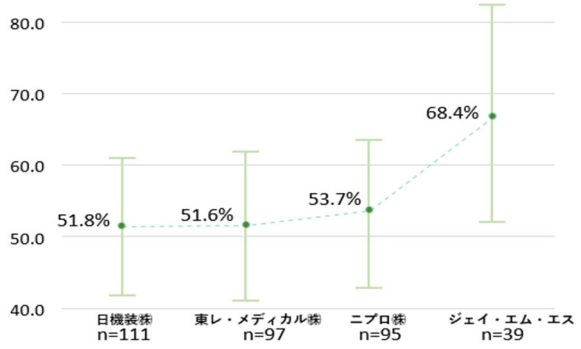

図１４　２以上のメーカの回答があった場合の透析メーカ別透析部門システムの導入割合

透析部門システム導入割合は、一つのメーカだけの場合は全体で 67%、二つ以上のメーカの場合は全体で 54%と、差異が見受けられた。